

各委員からの主な意見 (前回開催：平成30年3月)

	分野	主な意見
1	納税	外国籍市民に対する納税の説明がわかりにくいので、説明をもっとわかりやすく工夫してほしい。
2	教育	「多言語による小学校生活スタートガイドの作成」は、とても重要な取組なので、もっと予算をかけてほしい。
3	ピクトグラム (図記号)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人にとって、日本の病院は見つけにくいので、公立、私立を問わず見つけやすいようにしてもらいたい。 外国人の医者を増やせないか。 道路標識も大通り以外の道路でも、外国人にとってわかりやすくしてほしい。
4	防災	レジリエント・シティの取組を進めるにあたって、自然災害対策の研究を進めている京都の大学とも情報共有できないだろうか。
5	国際	世界歴史都市連盟のネットワークを今後どのように生かすか考えなければならぬ。これまでの活動の成果や貢献について振り返る必要がある。
6	国際	パリ市以外の姉妹都市についても積極的な情報発信が必要である。
7	多文化共生	外国籍市民が地域の町内会議に参加できるようなきっかけがほしい。
8	多言語	多言語でのチラシ等を作成する際には、ネイティブスピーカーによる確認が重要である。企画段階から確認してもらうのが良い。